

かんが  
考えてみよう

よ  
し  
良い知らせ！

せいしょ  
聖書には、こう書かれていますよ：

みつが かれ い おぞ  
御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のための  
よるこ し き  
すばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたのために、  
すくぬし う  
救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」

しんがいやくせいしょ  
(新改訳聖書、ルカの福音書 2:10-11)

かんが  
考えてみよう：

クリスマスには、どうしてイエス様が地上に来られたのが、みんなに思い出させて  
あげよう。クリスマスは、かざり付けをしたり、クリスマスツリーをがざったり、  
プレゼントをあげたり、お祭りをしたりするだけのものじゃない。クリスマスとは、  
よるこ とし  
喜びの時でもあるんだ。イエス様が私達の一人一人を愛し、そのために地上に来て  
くださったという事実を喜ぶためのね。イエス様は、私達のために御自分の命を  
あた  
与えたいと思われたんだよ。

この「知らせ」とは、さいきん  
最近のニュースという意味だ。イエス様がお生まれになった夜、  
てんし  
天使は「良い知らせ」を伝えに来たと言った。つまり、みんなのための良いニュースの  
ことだね。だから、わたしたち いま  
私達も今、クリスマス物語をみんなに話して、よるこ  
喜びに満ちた良い  
知らせを伝えよう。そして、イエス様がどんなにすばらしいかを、みんなに伝えよう。

